

「地域間連携によるピーストーク 8.9 長崎⇄大分」 (長崎大分地域連携による対話で核兵器禁止条約の 詳しい意味と被爆や戦争の実相の相互理解)

💡 8月9日に向けた平和学習

7月20日、別府市立朝日中学校の全校生徒が、事前に収録した被爆者三瀬清一朗さん(87歳)による証言映像を視聴。その後のアンケートでは、「戦争はとても愚かなことだと思った」「次は私たちが戦争の恐ろしさを伝えなければならないと思った」など、生徒たちが平和の尊さを改めて実感したことが伝わりました。(写真①)



💡 長崎と大分をオンラインで繋ぐ

8月9日、生徒からのアンケートをもとに、三瀬さんが生徒に語りかけたり、ナガサキ・ユース代表団の学生や高校生平和大使が自分たちの活動を紹介したりするなど、互いに感想を交えながら対話を展開し、11時2分には参加者全員で黙とうしました。(写真②)



💡 出前講座で多くの人に伝える

12月11日に三和公民館で開催された「Peace Creation from Sanwa(※)」の中で、ダンスステージに出演した小中高生と群読の後にピーストークを実施し、親子で平和を考える機会となりました。今後も、要望があれば出前講座を実施します。(写真③)

(※)「感じる 考える つくる 伝える」をコンセプトに、体験型ワークショップを取り入れた三和公民館主催講座。



💡 取組みをまとめた冊子を作成中

地域間の交流学習の記録を広く公開、継承するため、取組みをまとめた小冊子を作成中。完成後は、長崎や大分の学校、図書館などに納める予定です。



連絡先：ピース・バイ・ピース・ナガサキ
peacebypeacenagasaki@gmail.com